

株式会社エンタープライズ山要

2019 年度 環境経営レポート

対象期間： 2019 年1月1日～ 2019 年12月31日



作成日： 2020 年4月2日
更新日： 2020 年4月2日

環境経営方針

(株)エンタープライズ山要は産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集運搬・積替え保管業を通じて、環境保全の担い手として自然の声・お客様に応えていきます。また、地球環境保全の重要性を認識し、日々の事業活動を通じて、快適な住みよい社会を次世代へと引き継ぐことに貢献します。

<環境保全への行動指針>

- 1 . 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2 . 電力と軽油・ガソリンの節減により二酸化炭素の発生を抑制します。
- 3 . 事務所の一般廃棄物の削減に取り組みます。
- 4 . 節水に取り組みます。
- 5 . 事務用品・電気製品・車等は環境に良い商品を優先的に購入します。
- 6 . お客様の環境負荷が低減する提案を推進します。
- 7 .

制定日： 2011年9月1日

改定日： 2017年4月10日

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名
株式会社 エンタープライズ山要
代表取締役 山口 玉緒

(2) 所在地
本 社 大阪府寝屋川市打上新町15番4号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 安達 宗弘
担当者 安達 尚弘 TEL:072-822-9596

(4) 事業内容
株式会社 エンタープライズ山要 法人設立 平成5年1月6日
産業廃棄物・特別管理産業廃棄物 収集運搬及び中継保管業

(5) 事業の規模
資本金及び売上高 資本金 売上高
株式会社 エンタープライズ山要 1000万円 306 百万円
年間収集運搬量 9,661 t
(株)エンタープライズ山要

		(株)エンタープライズ山要	
従業員	37 名		
延べ床面積	20000㎡		
受託した産業廃棄物の処理量			
収集運搬量	9,661 t		
中間処理量	0 t	うち再資源化量	0 t
最終処分量	0 t		
中間処理後の産廃の処分量	0 t	うち再資源化量	0 t

車両台数

車種	台数	備考
10tコンテナ車	2 台	
7tコンテナ車	2 台	
4tコンテナ車	7 台	
3tコンテナ車	1 台	
2tコンテナ車	6 台	
4t塵芥車	9 台	
2t塵芥車	5 台	
ユニック車	1 台	
乗用車	9 台	
軽トラック	2 台	
合計	44 台	

主要設備

名称	台数	備考
ホイールローダー	3 台	2台減車
パワーショベル	4 台	2台減車
スーパー車	1 台	
50tトラックスケール	1 機	

積み替え保管施設

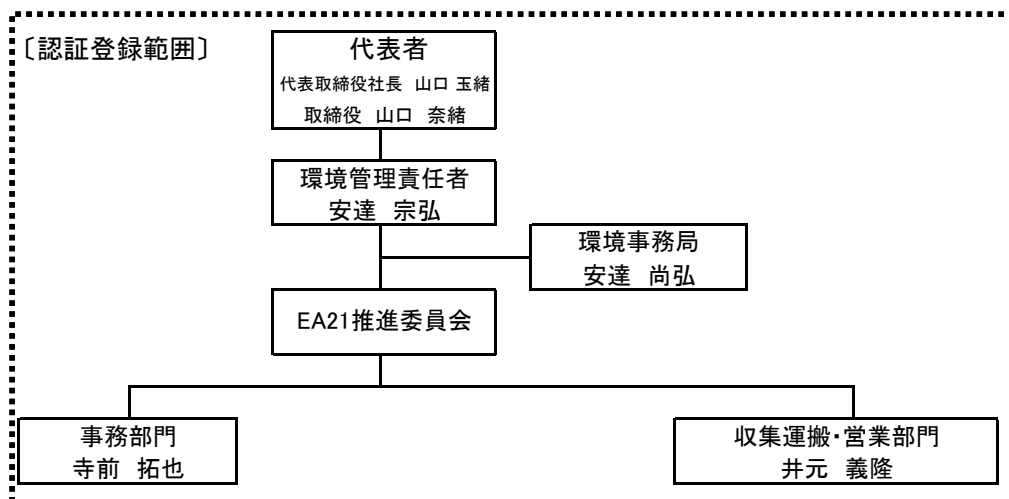
名称	保管量	保管品目	備考
積み替え保管施設	267.7立方メートル	燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、水銀使用製品産業廃棄物保管場所、がれき類、ばいじん	積上げ高:2.7m

(6) 事業年度 1月～12月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： (株)エンタープライズ山要
 活動：株式会社 エンタープライズ山要
 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物 収集運搬及び中継保管業

【環境管理実施体制図】



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理、 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告・ ・環境活動レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

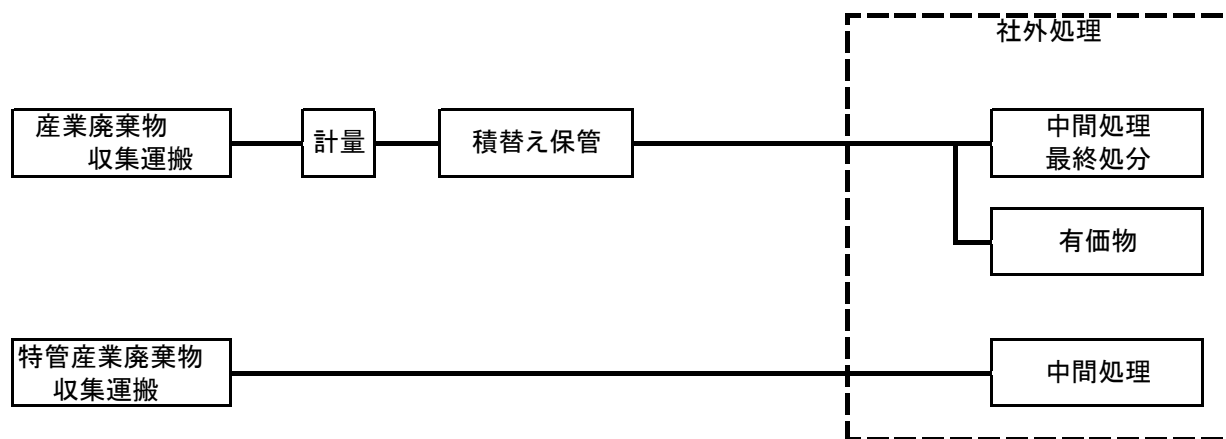
□許可・登録の内容

種 類	発行者	許可番号	許可の年月日 許可の有効年月日	積 替 え 保 管	廃物の種類														
					燃 え 殻	汚 泥	廃 油	廃 プ ラ 類	紙 く ず	木 く ず	織 維 く ず	動 植 物 性 残 渣	ゴ ム く ず	金 属 く ず	ガ ラ ス く ず	が れ き 類	ば い じ ん		
産業廃棄物収集運搬業	大阪府	2710013374	平成21年3月6日 平成35年2月24日	有	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
産業廃棄物収集運搬業	奈良県	2900013374	平成19年6月2日 平成33年7月9日	無	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
産業廃棄物収集運搬業	京都府	02601013374	平成22年11月9日 平成36年11月8日	無	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	
産業廃棄物収集運搬業	兵庫県	02806013374	平成20年9月9日 平成34年9月8日	無		●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	
産業廃棄物収集運搬業	滋賀県	02501013374	平成20年9月24日 平成34年9月23日	無				●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	
特別管理産業廃棄物収集運搬業	大阪府	2750013374	平成24年5月22日 平成36年5月21日	無	廃油・廃酸・廃アルカリ・感染性産業廃棄物														
特別管理産業廃棄物収集運搬業	京都府	02650013374	平成29年11月19日 平成36年11月19日	無	廃油・廃酸・廃アルカリ・感染性産業廃棄物・廃石綿等														

□処理料金

処理料金については、引取場所、品目等により異なりますので、当社(電話:072-822-9596
<http://neyagawakogyou.com/>)まで お問い合わせ下さい。

□廃棄物処理フロー



□主な環境負荷の実績

項目	単位	2017年度	2018年度	2019年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	389,298	379,708	375,616
廃棄物排出量				
一般廃棄物量排出量	kg	235	243	221
総排水量	m ³	1,122	716	640

※使用電力の二酸化炭素排出係数 0.496 kg-CO₂/kWh

□環境目標及びその実績

項目	年度	基準値	2019年		評価	2020年	2021年
		基準年	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	23,876	17,191	11,953	○	17,191	17,191
	基準年度比	2010年	72%	50%		72%	72%
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	370,384	370,384	358,338	○	370,384	370,384
	基準年度比	2016年	100%	97%		100%	100%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	394,260	387,574	370,291	○	387,574	387,574
一般廃棄物の削減	kg	245	233	221	○	233	233
	基準年度比	2010年	95%	90%		95%	95%
水道水の削減	m ³	948	929	640	○	929	929
	基準年度比	2010年	98%	68%		98%	98%
グリーン購入			行動目標	次項による	○	行動目標	行動目標
サービスへの環境配慮			行動目標	次項による	○	行動目標	行動目標

□環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	次年度の取組	評価(評価と次年度の取組み内容)
電力の二酸化炭素排出量削減			
数値目標	○	省電力が 定着したようです。次年度も引き続き徹底できるように社員一同一丸となって頑張ります	
照明は、昼休み、残業時等不必要なものは消灯	○		
夜間、休日は、パソコン、プリンター等の主電源を切る	○		
空調を必要な区域・時間に限定して使用	○		
使用していない部屋の空調は停止	○		
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減			
数値目標	○	エコアクション21チーム主導による日野自動車さんのエコドライブ講習、こどもミュージアム号の増車、リスクアセスメントチームの無事故無災害の日々の取組みが功を奏して、無事故無災害記録を少しずつ伸ばしています。燃料消費量も削減で来ていて 地球にも地域にも経営にも良い結果が得られました。今年度はエコアクション21チームへの引継ぎをしましたので、次年度は新しく熱く取り組んでいけると期待しています。	
効率的な配車	○		
適正な荷重・スピードに努める	○		
アイドリングストップ	○		
一般廃棄物の削減			
数値目標	○	頭打ちの感が否めないなので、次年度は ゴミ減量に向けて チームでアイデアを出してもらいます。	
分別の徹底→リサイクル	○		
裏紙の使用	○		
封筒の再利用	○		
デジタルデータの共有による紙資源の軽減	○		
水道水の削減			
数値目標	○	飛びぬけて1,2月が使用量が多いのは、水道管破損で漏水があったため。次年度も順調に達成していきたい。	
節水取組シール	○		
雨水利用	○		
ホースにノズル装着を徹底する	○		
グリーン購入			
事務用品のグリーン調達率維持向	○	社内ミーティングや情報共有は 努めてペーパーレスをすすめました。お客様の請求やマニフェストも電子請求等でさらにペーパーレス化がすすみます。	
事務所内のペーパーレス化	○		
サービスへの環境配慮			
マニフェストに関する啓発	○	本年度よりそれぞれの目標を掲げる6チーム制を導入し、それぞれが地域やお客様のための経営を常に考えて、全社で取り組めるようにリードしています。ゴミ処理サービスで笑顔を提供するという経営理念を強く意識してくれています。	
お客様が「得をする・エコ活動ができる」ためのサービス提供	○		
処分場見学サービス	○		
廃棄物年間報告に関する啓発	○		

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属くず、廃プラ、廃ガラス、廃油、廃水銀使用製品等)
フロン排出抑制法	業務用エアコン
家電リサイクル法	特定家庭用機器廃棄物
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等
自動車NOx・PM法	排気ガス規制
大阪府条例(流入車規制)	排気ガス適合車両
消防法	少量危険物貯蔵所の設置届、危険物の貯蔵量
計量法	計量証明事業所としての登録

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定：安全衛生講習	
■実施日 令和1年9月7日	■実施場所：事務所地下1F
■参加者 全社員	■実施内容： 地下1Fにおいて火災が発生。
<p>■評価： 火災発生から消火活動、避難場所への移動に少し時間がかかりすぎたと思います。 原因としては、消火器の定点位置の把握ができていない、また、社内での避難ルート周知不足が挙げられた。</p>	
<p>■実施状況の様子 地下1Fで配電盤からの火災が発生。従業員が倒れたことを想定した訓練。</p>	
	
	

□代表者による全体の評価と見直し

実施日：2020年4月2日

【今回の評価結果と今後の経営視点】

前年度に引き続き、社員研修を通して 全体のボトムアップを目指す一年でした。弊社は ゼロ災害・マナー向上・エコ活動の啓もう等の推進を通してのブランド強化を目標に 価格競争ではなくお客様に選んでいただける企業を目指します。そしてよりお客様に寄り添う企業として存在していきます。エコアクション21の活動を通じて より目標の実現に向かうべく努力を続けたいと思います。

環境方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更有り
環境目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更有り
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更有り

□環境活動の紹介

毎月一回の弊社周辺清掃活動

今後弊社周辺だけではなく、清掃活動の幅を広げていきたい。



自動車事故撲滅を目標に掲げている こどもミュージアムプロジェクトに 弊社も賛同し、こどもミュージアム号として 4トンテナ車2台に園児が書いてくれた 絵をラッピング装着しました。

弊社ドライバーの自動車運転への意識改革はもとより、この車を見る後続車、並走車、道を行く歩行者の意識もかわり、交通事故減少とエコ運動、排気ガス削減につながると信じ、今後も こどもミュージアムプロジェクトに協力していきたいと考えます。

9月には、万博記念公園でこどもミュージアムフェスタが開催。弊社によるブースも設置され、ペットボトルのキャップやラベルの分別を子供たちに分かりやすく理解してもらい、分別した素材で楽しく遊べるペットボトル空気砲作りを体験してもらった。



今後とも、環境活動を念頭に あらゆる改善を推進していきます。

エコドライブ講習

実施日2019年9月28日

○参加者 全社員

大阪日野自動車株式会社によるエコドライブ講習を行いました。
急がない、ゆっくり加速、ゆっくりブレーキ、車間距離にゆとりを持つ。全社員に改めて意識付け、また、環境への負荷や、交通事故が減ることにつながります。



社内にあるトラック全車両のサンバイザーに、

省燃費運転5つのコツ

- ・ムダなアイドリングはやめよう。
- ・発進、加速はゆっくりと。
- ・一定の速度で走ろう。
- ・スピードを控えよう。
- ・アクセルオフは早め。

を表記したラミネートを張り付けました。
乗車時に視界に入るようサンバイザーを下しています。